

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公表番号】特表 2019-535518 (P2019-535518A)

【公表日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2019-549670 (P2019-549670)

【国際特許分類】

B 0 5 B 7/02 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 7/02

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スプレーガンエアキャップであって、
前方端部と、
前記前方端部と反対側の保持端部と、
前記保持端部及び前記前方端部を通る噴霧軸と、
前記前方端部と前記保持端部との間に位置する側壁と、を含み、
前記側壁は第 1 のエアキャップ保持システムを含み、前記第 1 のエアキャップ保持システムは、
前記保持端部に開口して前記前方端部の方に延びる保持ウィンドウを含む受取り特徴部と、
前記保持ウィンドウと交差し、前記噴霧軸の周りの円弧をたどるエアキャップ回転ガイドであって、前記前方端部に面する保持壁を含むエアキャップ回転ガイドと、を含み、
前記保持ウィンドウは、前記側壁を通して前記前方端部の方に延びる、スプレーガンエアキャップ。

【請求項 2】

前記エアキャップ回転ガイドは前記側壁を通して延びる、請求項 1 に記載のスプレーガンエアキャップ。

【請求項 3】

前記エアキャップ回転ガイドは、前記円弧の第 1 の端部に位置する第 1 の端止めを含む、請求項 1 又は 2 に記載のスプレーガンエアキャップ。

【請求項 4】

前記エアキャップ回転ガイドは、前記円弧の第 2 の端部に位置する第 2 の端止めを含む、請求項 3 に記載のスプレーガンエアキャップ。

【請求項 5】

前記保持ウィンドウは、前記第 1 の端止めと前記第 2 の端止めとの間の中間円弧位置に位置する、請求項 4 に記載のスプレーガンエアキャップ。

【請求項 6】

ノズルボディと、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のスプレーガンエアキャップと、を含む、スプレーガンノズルアセンブリ。

【請求項 7】

前記ノズルボディは、前記スプレーガンエアキャップ上の前記保持ウィンドウを通るように構成されたノズルボディ保持特徴部を含む、請求項6に記載のスプレーガンノズルアセンブリ。

【請求項 8】

前記ノズルボディ保持特徴部は前記エアキャップ回転ガイドを通るように構成されている、請求項7に記載のスプレーガンノズルアセンブリ。

【請求項 9】

前記ノズルボディはスプレーガンボディから分離可能である、請求項6 ~ 8 のいずれか一項に記載のスプレーガンノズルアセンブリ。

【請求項 10】

エアキャップをノズルボディに組み付ける方法であって、

スプレーガンエアキャップの保持端部を噴霧軸に沿ってノズルボディと位置合わせして、前記スプレーガンエアキャップ上の保持ウィンドウが回転してノズルボディ保持特徴部と位置合わせされるようにすることと、

前記スプレーガンエアキャップを前記ノズルボディの方に平行移動させて、前記ノズルボディ保持特徴部を前記保持ウィンドウ内に通すことと、

前記スプレーガンエアキャップを前記ノズルボディに対して前記噴霧軸の周りを第 1 の方向に回転させて、前記ノズルボディ保持特徴部が第 1 の端止めと接触するまで、前記ノズルボディ保持特徴部をエアキャップ回転ガイドに沿って進ませることと、

前記スプレーガンエアキャップを前記ノズルボディに対して前記噴霧軸の周りを前記第 1 の方向と反対の第 2 の方向に回転させて、前記ノズルボディ保持特徴部が第 2 の端止めと接触するまで、前記ノズルボディ保持特徴部を前記エアキャップ回転ガイドに沿って進ませることと、

を含み、

前記保持ウィンドウは、前記第 1 の端止めと前記第 2 の端止めとの間の中間円弧位置に位置し、前記スプレーガンエアキャップが前記第 1 の端止めと前記第 2 の端止めとの間で回転するときに、前記ノズルボディ保持特徴部は前記保持ウィンドウを横断するように通ることができる、方法。